

No. 1594

# 育てサケ放流

——東京・多摩川——

2月19日「サケを東京に呼ぶ会」が呼びかけてサケの稚魚を放流する催しが多摩川の二子橋付近で行われました。サケを卵から孵化させて飼育、放流を通じて環境教育を実施している都内の小学校など76校中56校が参加。5～6センチに成長した稚魚を持ちより放流しました。

今年は10万匹の稚魚を放流、成長して北太平洋1万5千キロの大回遊を終えて戻ってくるサケは、放流地の二子橋付近で発見されるとか。

多摩川に放流を開始してから今年で9回目。

サケを通じての「環境運動」はこれから学校だけでなく一般家庭にも広がってゆくようです。

# 世界規模で責任分担へ

——日米首脳会談——

竹下首相はブッシュ新大統領との首脳会談を行うため1月31日アメリカを訪問しました。

先ずニューヨーク入りした首相は国連本部でデクエサル事務総長と会談。昨年日本が呼びかけた「国連軍縮会議」を今年の4月に京都で開くことに合意しました。

2月3日ホワイトハウスのローズ・ガーデンで首脳会談を前に打ちとけた様子の両首脳。

会談では日米関係が世界の平和と安全に重大な関わりを持っているとの認識で一致し、日本が対外援助などを通じ、幅広い分野で責任分担の強化に努めることを確認。記者発表で竹下首相は「21世紀に向けての人類の平和と繁栄のための日米協力の新たな門出となった」と発表。

2月6日ロスアンゼルスではレーガン前大統領を事務所に訪問。誕生日を祝うと共に訪日を招請。

また郊外にある日系一世の住む引退者ホームを訪ね、お年寄りを激励。老人たちから首相夫妻に童謡「ふるさと」の合唱がプレゼントされました。

今回の渡米が日米関係の新しい役割を担う第一歩となったようです。